



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月10日

上場会社名 株式会社インプレスホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 9479 URL http://www.impressholdings.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 唐島 夏生  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役/執行役員CFO (氏名) 山手 章弘 TEL 03-6837-5000  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	5,667	7.8	133	0.3	162	20.6	109	426.7
28年3月期第2四半期	5,257	6.1	133	—	134	346.4	20	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 85百万円 (178.3%) 28年3月期第2四半期 30百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	3.28	—
28年3月期第2四半期	0.62	0.62

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	11,689	6,977	59.6	208.67
28年3月期	11,783	6,927	58.6	207.10

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 6,962百万円 28年3月期 6,910百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	1.00	1.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期 (予想)	—	—	—	0.50 ~1.00	0.50 ~1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	11,000 ~11,300	—	50 ~200	—	0 ~100	—	0.00 ~3.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 6「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の摘要」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	37,371,500株	28年3月期	37,371,500株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	4,005,806株	28年3月期	4,003,766株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	33,367,084株	28年3月期2Q	33,371,516株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づくレビュー手続きを実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	6
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	6
4. 四半期連結財務諸表 .....	7
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

当社は、有価証券の取引等の規制に関する内閣府令第49条第2項に規定する特定上場会社等に該当し、インサイダー取引規制の重要事実の軽微基準については連結ベースの数値に基づいて判断することになります。

事業セグメント区分	事業区分		事業内容	主要な会社
IT (IT分野に関するメディア及び関連サービス事業)	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、販売及び広告収入等	㈱インプレス ㈱IAD 英普麗斯(北京) 科技有限公司 Impress Group Singapore Pte. Ltd.
		出版	出版流通を主な販売チャネルとした雑誌、ムック、書籍等の企画制作、販売及び広告収入等	
		ターゲット	ユーザー属性の明確な顧客層を対象としたメディアの企画制作、販売及び広告収入等	
	サービス事業	販促物等の受託制作及びその周辺サービス		
音楽 (音楽分野に関するメディア及び関連サービス事業)	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、販売及び広告収入等	㈱リットーミュージック
		出版	出版流通を主な販売チャネルとした雑誌、ムック、書籍等の企画制作、販売及び広告収入等	
デザイン (デザイン分野に関するメディア及び関連サービス事業)	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、販売及び広告収入等	㈱エムディエヌコーポレーション
		出版	出版流通を主な販売チャネルとした雑誌、ムック、書籍等の企画制作、販売及び広告収入等	
山岳・自然 (山岳・自然分野に関するメディア及び関連サービス事業)	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、販売及び広告収入等	㈱山と溪谷社
		出版	出版流通を主な販売チャネルとした雑誌、ムック、書籍等の企画制作、販売及び広告収入等	
モバイルサービス (モバイル関連のサービス事業及びメディア事業)	メディア事業	デジタル	電子書籍の企画制作及び販売	㈱ICE
	サービス事業		モバイル端末向けサービスの企画・開発・運営等	
その他	メディア事業		出版事業、電子出版等の事業開発及びR&D等	㈱近代科学社 ㈱インプレスR&D Impress Business Development(同)
全社			グループ経営・財務戦略の策定 出版営業支援及び物流・販売管理 等	㈱インプレスホールディングス(当社) ㈱Impress Professional Works

(当第2四半期連結累計期間の業績全般の概況)

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものです。

文中の事業セグメントの売上高は、セグメント間の内部振替高を含んでおり、セグメント損益は、営業損益をベースとしております。

当第2四半期連結累計期間につきましては、読み放題サービスの広がりにより電子書籍の販売が増加、またスマートフォン向けサービスの事業規模が順調に拡大いたしました。加えて、書籍販売、カレンダー等の大型季節商品の出荷増により出版メディアの売上高も増加し、増収となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期（5,257百万円）に比べ410百万円増加し、5,667百万円となりました。営業損益は、増収も、書籍等の堅調な出荷に伴う販売印税の増加や人材強化に伴う人件費の増加に加え、売上債権に対する貸倒引当金の積増し等による販管費の増加が影響し、前年同期と同水準の133百万円の営業利益となりました。経常損益は、持分法による投資利益の計上等により前年同期（134百万円）に比べ27百万円増加し、162百万円の経常利益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期のような大きな特別損失の計上がなかったことで、前年同期（20百万円）に比べ88百万円増加し、109百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益となりました。

(セグメント別の概況)

#### ①IT

ITセグメントのメディア事業につきましては、主力のデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch」

(<http://www.watch.impress.co.jp/>)等の広告収入が減少しましたが、電子書籍等のコンテンツ販売が増加し、デジタルメディアの売上高が増加いたしました。また、ターゲットメディアは減収となったものの、既刊書籍の堅調な出荷と季節商品の出荷規模の拡大により、出版メディアの売上高は増加いたしました。

これらの結果、メディア事業の売上高は、デジタルメディアと出版メディアの増収により、前年同期（1,917百万円）比6.2%増の2,035百万円となりました。

サービス事業につきましては、ターゲットメディアと連携したビジネスセミナーの規模拡大等によりイベント収入は堅調に推移いたしました。アジア市場向けSP（セールスプロモーション）の受託事業の受注減少により、減収となりました。

これらの結果、サービス事業の売上高は、前年同期（467百万円）比5.7%減の440百万円となりました。

以上により、「IT」の売上高は、サービス事業の減収をメディア事業の増収により補い、前年同期（2,384百万円）比3.8%増の2,476百万円となりました。セグメント利益では、増収もアジア市場向けSP受託事業等の収益性が低下したことに加え、貸倒引当金の計上等も影響し、前年同期（81百万円）比81.9%減の14百万円の利益となりました。

#### ②音楽

音楽セグメントにつきましては、雑誌広告等の減少により出版メディアが減収となりましたが、電子書籍等のコンテンツ販売及び事業開発を強化しております楽器購買支援サイト「楽器探そう！デジマート」

(<http://www.digimart.net/>)における楽器店からの登録料及び決済サービス収入の増加等によりデジタルメディアが好調に推移し、増収となりました。

以上により、「音楽」の売上高は、前年同期（826百万円）比4.1%増の860百万円となりました。セグメント利益では、増収により前年同期（13百万円損失）に比べ2百万円損失が減少し、11百万円の損失となりました。

#### ③デザイン

デザインセグメントにつきましては、出版メディアは新刊タイトルの減少に伴う販売の減少を既刊書籍の販売及び季節商品の出荷増で補い堅調な推移となったことに加えて、電子書籍等のコンテンツ販売が増加したことにより、増収となりました。

以上により、「デザイン」の売上高は、前年同期（385百万円）比4.2%増の402百万円となりました。セグメント利益では、収益性の改善により前年同期（0百万円）と比べ28百万円増加し、29百万円の利益となりました。

④山岳・自然

山岳・自然セグメントにつきましては、電子書籍等のコンテンツ販売の増加に加え、登山情報サイト「ヤマケイオンライン」(<http://www.yamakei-online.com/>)の広告収入の堅調な推移により、デジタルメディアの売上高が増加いたしました。また、出荷規模の見直しにより季節商品は減少いたしました。また、雑誌の販売効率の改善及び既刊書籍の堅調な販売により、出版メディアの売上高も増加、加えて本年より新設された「山の日(8/11)」関連のイベント収入等の新たな売上も創出いたしました。

以上により、「山岳・自然」の売上高は、前年同期(1,042百万円)比4.2%増の1,086百万円となりました。セグメント利益では、増収も収益性の低下や販売印税等の販売変動費の増加により、前年同期(163百万円)比26.8%減の119百万円の利益となりました。

⑤モバイルサービス

モバイルサービスセグメントにつきましては、スマートフォン向けコミック関連サービス等の事業規模が順調に拡大、運営受託に加えて、開発案件の受託収入も増加しました。また、電子書籍レーベル「impress QuickBooks」等において、電子書籍等のデジタルコンテンツ販売が順調に推移し、大きな増収となりました。

以上により、「モバイルサービス」の売上高は、前年同期(491百万円)比45.2%増の714百万円となりました。セグメント利益では、人材強化による人件費等の増加を増収で吸収し、前年同期(62百万円)比75.1%増の108百万円の利益となりました。

⑥その他

その他セグメントにつきましては、PODの仕組みを活用した「NextPublishing」による電子書籍等の売上が増加したことに加え、人工知能関連の理工系専門書等の書籍販売が好調に推移し、売上高は前年同期(160百万円)比4.6%増の168百万円となりました。セグメント利益では、増収に加え事業開発投資に伴う費用の減少により、前年同期(13百万円損失)と比べ22百万円利益が増加し、9百万円の利益となりました。

⑦全社

全社区分につきましては、純粋持株会社である当社と、グループの経営管理機能及び販売・物流管理機能を担う㈱Impress Professional Worksが区分されており、グループ会社からの配当、情報システム等の経営インフラの使用料及びグループ会社や出版社を中心とするパートナー会社の物流・販売管理に伴う手数料収入を売上高として計上し、経営インフラ等の運営に係る費用を負担しております。

全社区分の売上高は、グループ会社からの配当収入の増加に加え、システムインフラの増強によるグループ運営費の増加、販売管理業務の手数料収入の増加等により、前年同期(533百万円)比17.4%増の625百万円となりました。全社セグメントの利益は、増収により、前年同期(118百万円損失)から41百万円改善し、76百万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、季節変動要因により仕掛品が増加したものの、借入金の返済や子会社株式の取得による現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末に比べ94百万円減少し11,689百万円となりました。負債につきましては、借入金の返済により有利子負債等が減少したこと等により、143百万円減少し4,711百万円となりました。純資産につきましては、四半期純利益の計上等により、6,977百万円となりました。

純資産から新株予約権を引いた自己資本は6,962百万円となり、自己資本比率は59.6%と前連結会計年度末(58.6%)と比べ1.0ポイント増加しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、税金等調整前四半期純利益の計上が162百万円ありましたが、季節変動要因によるたな卸資産の増加等により、営業活動で34百万円の資金が減少しております。投資活動では、投資有価証券の取得等により、325百万円の資金が減少しております。また、財務活動においては、有利子負債の返済等により、199百万円の資金が減少しております。

以上により、当第2四半期連結累計期間において571百万円の資金が減少し、当第2四半期連結累計期間末の資金残高は、3,913百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、平成28年11月8日に、第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想の修正を行っております。

第2四半期連結累計期間におきましては、読み放題サービスの広がりにより電子書籍の販売が増加、またスマートフォン向けサービスの事業規模が順調に拡大、加えてカレンダー等の大型季節商品の出荷が順調に進んだことにより、売上高は当初の予想を上回る推移となっております。また、販売印税の増加や貸倒引当金の積増し、人材強化に伴う人件費の増加等により販管費が増加したものの、増収により経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益も当初の予想を上回りました。

通期連結業績につきましては、上半期の増収により、売上高は当初の予定を上回る見通しです。一方、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、スマートフォン向けサービス事業等は堅調な推移を想定しているものの、大型季節商品の返品リスクに加え、海外におけるSP（セールスプロモーション）受託案件の減少、IT分野のデジタル広告が弱含みで推移していること、第2四半期にスタートした電子書籍の大型読み放題サービスの下半期業績に対する影響が現時点で不明なこと等を勘案した予想となっております。

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
平成28年5月12日発表 予想 (A)	10,800 ～11,100	50 ～200	0 ～100	0円 ～3.00円
平成28年11月8日発表 修正予想 (B)	11,000 ～11,300	50 ～200	0 ～100	0円 ～3.00円
増減額 (B-A)	200 ～200	—	—	—

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	4,485,249	3,913,827
受取手形及び売掛金	3,632,911	3,672,600
有価証券	601,048	400,416
商品及び製品	1,004,686	1,027,884
仕掛品	102,424	311,266
繰延税金資産	86,768	86,768
その他	200,964	214,605
返品債権特別勘定	△20,900	△27,600
貸倒引当金	△8,250	△41,329
流動資産合計	10,084,902	9,558,438
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	470,515	488,768
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	209,318	208,887
その他	14,154	14,154
無形固定資産合計	223,473	223,041
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	536,989	963,956
破産更生債権等	77,069	67,224
繰延税金資産	40,034	36,401
その他	417,428	418,497
貸倒引当金	△67,230	△67,224
投資その他の資産合計	1,004,290	1,418,856
固定資産合計	1,698,279	2,130,665
資産合計	11,783,182	11,689,104

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,355,511	1,551,516
短期借入金	500,000	500,000
1年内償還予定の社債	40,000	—
1年内返済予定の長期借入金	251,336	234,668
未払法人税等	26,671	50,997
賞与引当金	136,443	115,831
返品調整引当金	187,022	187,799
その他	1,070,240	869,875
流動負債合計	3,567,224	3,510,687
固定負債		
長期借入金	263,788	154,784
繰延税金負債	44,603	37,176
退職給付に係る負債	975,968	1,005,489
その他	4,153	3,818
固定負債合計	1,288,513	1,201,268
負債合計	4,855,738	4,711,955
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,341,021	5,341,021
資本剰余金	1,664,508	1,664,508
利益剰余金	619,081	695,185
自己株式	△722,054	△722,337
株主資本合計	6,902,557	6,978,378
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	101,522	84,328
為替換算調整勘定	61,358	40,519
退職給付に係る調整累計額	△154,834	△140,782
その他の包括利益累計額合計	8,045	△15,934
新株予約権	16,840	14,704
純資産合計	6,927,443	6,977,148
負債純資産合計	11,783,182	11,689,104

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	5,257,000	5,667,219
売上原価	3,245,213	3,579,978
売上総利益	2,011,787	2,087,241
返品調整引当金繰入額	23,027	7,477
差引売上総利益	1,988,759	2,079,764
販売費及び一般管理費	1,855,315	1,945,867
営業利益	133,444	133,896
営業外収益		
受取利息	3,995	2,365
受取配当金	1,945	1,291
持分法による投資利益	—	29,434
為替差益	—	12
貸倒引当金戻入額	727	—
その他	2,982	2,668
営業外収益合計	9,651	35,771
営業外費用		
支払利息	6,139	5,141
為替差損	1,141	—
その他	1,473	2,482
営業外費用合計	8,753	7,623
経常利益	134,342	162,045
特別利益		
新株予約権戻入益	—	2,135
特別利益合計	—	2,135
特別損失		
投資有価証券売却損	30,439	—
投資有価証券評価損	—	1,399
特別退職金	20,335	—
貸倒引当金繰入額	32,274	—
特別損失合計	83,048	1,399
税金等調整前四半期純利益	51,293	162,780
法人税、住民税及び事業税	30,618	50,038
法人税等調整額	△110	3,270
法人税等合計	30,507	53,309
四半期純利益	20,786	109,471
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,786	109,471

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	20,786	109,471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	667	△17,193
為替換算調整勘定	2,574	△20,838
退職給付に係る調整額	6,686	14,052
その他の包括利益合計	9,928	△23,980
四半期包括利益	30,714	85,491
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,714	85,491
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	51,293	162,780
減価償却費	72,660	71,163
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△14,343	29,520
退職給付に係る調整額の増減額 (△は減少)	—	14,052
賞与引当金の増減額 (△は減少)	18,684	△20,252
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	23,527	777
返品債権特別勘定の増減額 (△は減少)	△500	6,700
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	32,406	33,072
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	△53,618	9,845
受取利息及び受取配当金	△5,941	△3,657
支払利息	6,139	5,141
持分法による投資損益 (△は益)	—	△29,434
為替差損益 (△は益)	341	△1,095
投資有価証券売却損益 (△は益)	30,439	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	1,399
新株予約権戻入益	—	△2,135
売上債権の増減額 (△は増加)	105,632	△49,119
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△217,846	△232,376
仕入債務の増減額 (△は減少)	15,127	21,360
その他	△18,672	△42,498
小計	45,330	△24,755
利息及び配当金の受取額	9,825	15,111
利息の支払額	△5,784	△4,985
法人税等の還付額	48,307	31,266
法人税等の支払額	△36,768	△51,171
営業活動によるキャッシュ・フロー	60,911	△34,534
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△300,310	△300,314
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	939,280	201,120
有形及び無形固定資産の取得による支出	△46,440	△87,722
関係会社株式の取得による支出	—	△134,000
長期貸付けによる支出	—	△5,000
貸付金の回収による収入	270	328
その他	117,039	23
投資活動によるキャッシュ・フロー	709,837	△325,565

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	—
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△150,166	△125,672
社債の償還による支出	△32,000	△40,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△331
自己株式の取得による支出	△994	△282
配当金の支払額	△17,366	△33,188
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△31,635	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△232,162	△199,475
現金及び現金同等物に係る換算差額	796	△11,846
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	539,382	△571,421
現金及び現金同等物の期首残高	3,685,230	4,485,249
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,224,612	3,913,827

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額 (注) 3	四半期連結財 務諸表 計上額 (注) 2
	IT	音楽	デザイン	山岳・自然	モバイル サービス	計			
売上高	2,384,690	826,673	385,791	1,042,793	491,916	5,131,866	160,891	(35,756)	5,257,000
セグメント利益又はセグメント損失	81,913	(13,642)	600	163,253	62,161	294,286	(13,639)	(147,202)	133,444

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版事業、電子出版等の事業開発、R&D等が含まれております。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、調整を行い、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
3. 調整額は以下のとおりであります。
- セグメント利益又はセグメント損失の調整額△147,202千円には、インフラ利用料収入等7,260千円、セグメント間の内部売上高の取引消去△43,016千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△646,696千円、セグメント間の営業費用の取引消去535,250千円が含まれております。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額 (注) 3	四半期連結財 務諸表 計上額 (注) 2
	IT	音楽	デザイン	山岳・自然	モバイル サービス	計			
売上高	2,476,335	860,815	402,004	1,086,118	714,147	5,539,422	168,238	(40,441)	5,667,219
セグメント利益又はセグメント損失	14,863	(11,366)	29,459	119,461	108,823	261,240	9,033	(136,377)	133,896

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版事業、電子出版等の事業開発、R&D等が含まれております。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、調整を行い、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
3. 調整額は以下のとおりであります。
- セグメント利益又はセグメント損失の調整額△136,377千円には、セグメント間の内部売上高の取引消去△40,441千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△700,392千円、セグメント間の営業費用の取引消去604,457千円が含まれております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第2四半期連結累計期間まで重要性が乏しかったためその他に含めておりましたStyle us㈱は、平成27年12月1日付けで、ITセグメントの㈱インプレスが持つ編集、営業及びマーケティング等の基盤を活かしメディア運営力の強化を図るため、㈱インプレスと合併いたしました。この組織再編を受け、前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、これまでその他に含めておりましたStyle us㈱をITセグメントに組替えて開示しております。